



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月11日
東

上場会社名 株式会社gumi 上場取引所
コード番号 3903 URL <https://gu3.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川本 寛之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03 (5358) 5322
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年4月期第1四半期の連結業績(2026年5月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年4月期第1四半期	1,628	20.2	△186	—	△2,018	—	△1,868	—
2026年4月期第1四半期	1,354	△52.5	72	11.0	1,234	371.1	1,247	—

(注) 包括利益 2027年4月期第1四半期 △1,821百万円(—%) 2026年4月期第1四半期 1,567百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	△34.67	—
2026年4月期第1四半期	25.21	25.07

(注) 1. 2027年4月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年4月期第1四半期	26,617	20,329	71.3
2026年4月期	28,821	22,134	71.9

(参考) 自己資本 2027年4月期第1四半期 18,979百万円 2026年4月期 20,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年4月期	—				
2027年4月期(予想)					

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年4月期の配当額は未定であります。

3. 2027年4月期の連結業績予想(2026年5月1日～2027年4月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をしておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー 除外 一社(社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年4月期1Q	53,901,034株	2026年4月期	53,897,034株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	一株	2026年4月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年4月期1Q	53,897,077株	2026年4月期1Q	49,492,930株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、セグメント情報における報告セグメントについては、「モバイルオンラインゲーム事業」及び「ブロックチェーン等事業」の2セグメントとしておりましたが、当社グループの事業内容をより適切に表現すべく、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を「ネオメディアエンタメ事業」および「ネオクリプト事業」へ変更することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,628,012千円（前年同期比20.2%増）、営業損失は186,421千円（前年同期は72,554千円の営業利益）、経常損失は2,018,036千円（前年同期は1,234,422千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,868,816千円（前年同期は1,247,935千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。

（ネオメディアエンタメ事業）

売上高は、前連結会計年度に「ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ」を配信開始したことを主因として、前年同期比で増収となりました。営業利益は、「ジョジョの奇妙な冒険 オラオラオーバードライブ」の売上高が想定より下回ったことや、2026年8月6日に配信を開始した「僕のヒーローアカデミア UNITED SURVIVAL」の配信直前の開発費の増加等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、売上高は1,111,887千円（前年同期比32.2%増）、営業損失は498,048千円（前年同期は190,058千円の営業損失）となりました。

（ネオクリプト事業）

売上高に関しては、エンターテインメント領域においては、暗号資産の受領に伴う売上高計上等により前年同期比で概ね同水準の売上高となりました。アセットマネジメント領域においては、ノード運営のポートフォリオ最適化により良質なトークンを保有し、安定収益を創出した結果、前年同期比で概ね同水準の売上高となりました。営業利益に関しては、開発・運用体制の見直しによるコスト削減（主に外注費、広告費の減少）に伴い、前年同期比で増益となりました。

この結果、売上高は516,124千円（前年同期比0.6%増）、営業利益は311,627千円（前年同期比18.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は26,617,330千円となり、前連結会計年度末比2,203,757千円減少いたしました。これは主に暗号資産並びに売掛金及び契約資産の減少によるものであります。

負債合計は6,287,788千円となり、前連結会計年度末比398,932千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は20,329,542千円となり、前連結会計年度末比1,804,825千円減少いたしました。なお、自己資本比率は71.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ネオメディアエンタメ事業においては、IPの獲得からゲーム開発、周辺エンタメに至るまでを幅広く事業対象とし、ゲーム収益に過度に依存しない安定的な収益基盤の構築を目指してまいります。IPの獲得においては、製作委員会への出資等を通じて企画段階から参画し、収益性の高いゲーム化の権利獲得と、版元としてのロイヤリティ収益の創出に取り組んでまいります。ゲーム開発においては、引き続き他社IPタイトルを主軸に経営資源を投下する方針であり、当社ゲームエンジンと有力IPを組み合わせたタイトルの開発や開発受託への取り組みを更に強化してまいります。主力タイトルの運営を通じた安定収益を維持しつつ、新たに有力IPを使用した複数タイトルの開発に着手しており、収益力の拡大を図ってまいります。加えて、予測市場や公式二次創作に関する取り組み等、ゲーム以外の周辺エンタメ領域の拡大にも取り組んでまいります。

ネオクリプト事業においては、暗号資産の保有・運用、アセットマネジメント及び投資を中心とした金融領域に積極的に経営資源を投下し、収益の主軸として成長させていく方針です。暗号資産の保有・運用については、直近の暗号資産マーケットの動向を注視しつつ、当社本体では原則として特定の暗号資産へ集約し、当該暗号資産の国内最大の保有・運用事業者を目指してまいります。あわせて、保有する暗号資産を原資産としたオプション取引を活用した積極的な運用により、利回りの改善と安定収益の創出を図ってまいります。アセットマネジメント領域については、有力ブロックチェーンにおけるノード運営を通じたバリデータ報酬・ステーキング報酬の獲得及び獲得した暗号資産の自己運用に加え、暗号資産会計管理システムの外販等により、収益力の更なる強化を図ってまいります。

なお、ネオメディアエンタメ事業及びネオクリプト事業を取り巻く事業環境の変化が激しく、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であることから、業績予想を非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,393,609	3,057,592
売掛金及び契約資産	1,150,803	434,146
暗号資産	14,133,937	13,300,658
その他	1,764,792	1,183,898
流動資産合計	20,443,143	17,976,295
固定資産		
有形固定資産	94,959	122,464
無形固定資産		
ソフトウェア	993,547	818,483
ソフトウェア仮勘定	1,214,823	981,700
その他	300	275
無形固定資産合計	2,208,670	1,800,459
投資その他の資産		
投資有価証券	1,284,056	1,288,270
その他の関係会社有価証券	2,704,428	3,270,571
その他	2,135,828	2,209,269
貸倒引当金	△49,999	△49,999
投資その他の資産合計	6,074,313	6,718,111
固定資産合計	8,377,944	8,641,034
資産合計	28,821,087	26,617,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,078	121,511
短期借入金	4,000,784	4,059,120
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	577,819	411,129
未払法人税等	78,813	50,416
賞与引当金	33,944	24,486
株主優待引当金	16,000	16,000
その他	1,180,606	1,015,013
流動負債合計	6,224,046	5,897,677
固定負債		
長期借入金	37,500	25,000
資産除去債務	62,697	62,831
その他	362,476	302,279
固定負債合計	462,673	390,110
負債合計	6,686,720	6,287,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,407,500	15,409,096
資本剰余金	2,856,178	2,857,774
利益剰余金	359,456	△1,509,360
株主資本合計	18,623,135	16,757,510
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,946	85,273
為替換算調整勘定	2,014,572	2,136,687
その他の包括利益累計額合計	2,098,518	2,221,961
新株予約権	648,161	662,020
非支配株主持分	764,551	688,050
純資産合計	22,134,367	20,329,542
負債純資産合計	28,821,087	26,617,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
売上高	1,354,328	1,628,012
売上原価	846,043	1,257,344
売上総利益	508,284	370,667
販売費及び一般管理費	435,730	557,088
営業利益又は営業損失(△)	72,554	△186,421
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,718	11,163
為替差益	54,808	20,586
暗号資産評価益	1,094,301	—
暗号資産売却益	129,585	—
投資事業組合運用益	—	2,095
デリバティブ評価益	—	48,427
経営指導料	700	—
その他	—	821
営業外収益合計	1,287,114	83,094
営業外費用		
支払利息	17,741	26,670
株式交付費	—	58
寄付金	240	—
暗号資産評価損	—	1,537,889
暗号資産売却損	—	153,121
投資事業組合運用損	24,527	—
持分法による投資損失	78,888	187,556
その他	3,847	9,412
営業外費用合計	125,246	1,914,709
経常利益又は経常損失(△)	1,234,422	△2,018,036
特別利益		
投資有価証券売却益	64,732	9,327
関係会社清算益	—	2,743
新株予約権戻入益	5,886	7,173
特別利益合計	70,618	19,244
特別損失		
関係会社清算損	35,002	—
特別損失合計	35,002	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,270,037	△1,998,792
法人税、住民税及び事業税	25,191	1,475
法人税等調整額	△69,073	△53,475
法人税等合計	△43,882	△51,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,313,920	△1,946,793
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	65,985	△77,976
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,247,935	△1,868,816

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,313,920	△1,946,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,602	1,327
為替換算調整勘定	341,681	75,892
持分法適用会社に対する持分相当額	△92,103	47,697
その他の包括利益合計	253,179	124,917
四半期包括利益	1,567,100	△1,821,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,479,625	△1,745,374
非支配株主に係る四半期包括利益	87,474	△76,501

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び一部の連結子会社は、資金決済に関する法律（平成21年法律第59号）における暗号資産を保有しております。なお、暗号資産に関する注記は以下のとおりであります。

1. 暗号資産の連結貸借対照表計上額

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
保有する暗号資産	14,133,937 千円	13,300,658 千円
合計	14,133,937 千円	13,300,658 千円

2. 保有する暗号資産の種類ごとの保有数量及び連結貸借対照表計上額

(1) 活発な市場が存在する暗号資産

前連結会計年度 (2026年4月30日)				当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)			
種類	保有数	単位	連結貸借対照表計上額	保有数	単位	四半期連結貸借対照表 計上額	
FCT	891,709,554	FCT	8,662,833 千円	973,159,236	FCT	7,986,970 千円	
OSHI	494,076,067	OSHI	2,551,573 "	509,556,740	OSHI	2,655,644 "	
BTC	144.14	BTC	1,735,924 "	112	BTC	1,113,569 "	
TRX	3	TRX	0 "	9,504,971	TRX	500,002 "	
XRP	1,341,541	XRP	287,998 "	1,979,448	XRP	333,244 "	
USDT	3,831,248	USDT	608,328 "	1,860,645	USDT	299,835 "	
その他	—	—	287,277 "	—	—	411,391 "	
合計	—	—	14,133,937 千円	—	—	13,300,658 千円	

(2) 活発な市場が存在しない暗号資産

前連結会計年度 (2026年4月30日)				当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)			
種類	保有数	単位	連結貸借対照表計上額	保有数	単位	四半期連結貸借対照表 計上額	
HIME	$6.22513659 \times 10^{23}$	HIME	0 千円	$6.22513659 \times 10^{23}$	HIME	0 千円	
NIDT	7,709,020	NIDT	0 "	7,889,020	NIDT	0 "	
その他	—	—	— "	—	—	0 "	
合計	—	—	0 千円	—	—	0 千円	

（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年5月1日 至 2025年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	ネオメディアエンタメ事業	ネオクリプト事業	
売上高			
国内	788,139	—	788,139
海外	52,974	2,181	55,155
顧客との契約から生じる収益	841,113	2,181	843,294
その他の収益	220	510,813	511,033
外部顧客への売上高	841,333	512,995	1,354,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	841,333	512,995	1,354,328
セグメント利益又は損失(△)	△190,058	262,613	72,554

セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、ネオメディアエンタメ事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」、ネオクリプト事業においては国内取引の売上高を「国内」、海外取引の売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ネオメディアエンタメ事業	ネオクリプト事業	
売上高			
国内	1,104,560	7,000	1,111,560
海外	7,326	2,404	9,730
顧客との契約から生じる収益	1,111,887	9,404	1,121,291
その他の収益	—	506,720	506,720
外部顧客への売上高	1,111,887	516,124	1,628,012
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,111,887	516,124	1,628,012
セグメント利益又は損失(△)	△498,048	311,627	△186,421

セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、ネオメディアエンタメ事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」、ネオクリプト事業においては国内取引の売上高を「国内」、海外取引の売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループはこれまでセグメント情報における報告セグメントを「モバイルオンラインゲーム事業」および「ブロックチェーン等事業」の2区分としておりました。

今後の事業方針においては、SBIグループの戦略構想（既存の金融・デジタルスペース生態系に新たなネオメディア生態系を加えた3大生態系の連動による、新たな経済圏の構築）を受け、同グループのネオメディア戦略とのシナジー効果最大化を目指しております。

これに伴い、当社の事業内容をより適切に表現するため、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの名称を「ネオメディアエンタメ事業」および「ネオクリプト事業」へ変更することといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	12,922 千円	184,211 千円

(重要な後発事象)

(保有暗号資産に係る重要な事象①)

当社グループが保有する暗号資産FCTが上場している取引所の一つであるMEXCにおいて、2026年8月14日に上場廃止となりました。当社グループが保有するFCTの当第1四半期連結会計期間末の貸借対照表価額は7,986,970千円です。

当該上場廃止により、他の複数の暗号資産取引所においてはFCTの取扱いが継続しているものの、「資金決済法における暗号資産の会計処理等に関する当面の取扱い」(実務対応報告第38号2018年3月14日)における活発な市場の有無につき、検討を行っている状況です。

活発な市場が存在しないと判断した場合、FCTの評価方法が変更され、取得原価をもって連結貸借対照表価額とし、期末における処分見込価額が取得原価を下回る場合には評価損を計上することとなります。当社グループは、FCTの他の暗号資産取引所における取扱状況、取引量及び市場価格の推移を継続的にモニタリングしており、今後の状況によっては、評価損の計上その他の理由により、翌四半期連結会計期間以降の当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(保有暗号資産に係る重要な事象②)

当社グループが保有する暗号資産OSHIが上場している国内取引所の一つであるBITPOINTにおいて、2026年10月28日をもって上場廃止になることが2026年9月4日に公表されました。また、海外取引所であるGate.ioにおいて2026年9月16日をもって上場廃止になること、MEXCにおいて2026年9月12日をもって上場廃止になる可能性が高いことが、2026年9月9日に公表されました。当社グループが保有するOSHIの当第1四半期連結会計期間末の貸借対照表価額は2,655,644千円です。

当該上場廃止により、他の複数の暗号資産取引所においてはOSHIの取扱いが継続しているものの、「資金決済法における暗号資産の会計処理等に関する当面の取扱い」(実務対応報告第38号2018年3月14日)における活発な市場の有無につき、検討を行っている状況です。

活発な市場が存在しないと判断した場合、OSHIの評価方法が変更され、取得原価をもって連結貸借対照表価額とし、期末における処分見込価額が取得原価を下回る場合には評価損を計上することとなります。当社グループは、OSHIの他の暗号資産取引所における取扱状況、取引量及び市場価格の推移を継続的にモニタリングしており、今後の状況によっては、評価損の計上その他の理由により、翌四半期連結会計期間以降の当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。